

NAGASAKI

看護連盟だより

本気、やる気、根気、

山口ミユキ 書

松原まなみ



もつとみんなの
笑顔がみたい!!

目

総会プログラム..... 2

総会提出議題、スローガン..... 3

次

長崎県看護連盟表彰受賞者..... 3

両会長からのメッセージ..... 4

松原まなみ応援コーナー..... 5

看護政策推進大会..... 6

” 7

各支部活動状況..... 8

平成19年度通常総会プログラム

12:15	開 場	日時	平成19年6月30日(土)
13:05	オリエンテーション	場所	ながさき看護センター
13:15	開 会		
	物故会員への黙祷		
	挨拶	長崎県看護連盟 会長	山口ミユキ
	表彰		
	祝 辞長崎県知事、諫早市 市長、長崎市 市長、佐世保市 市長、長崎県看護協会 会長	
13:45	祝電披露		
13:50	休 憩		
14:00	議長団選出		
	経過報告	1. 平成18年度長崎県通常総会報告	
		2. 平成18年度役員会報告	
		3. 平成18年度会長会報告	
		4. 平成18年度活動報告	
		5. 平成18年度収支決算報告	
		6. 平成18年度監査報告	
		7. 平成18年度委員会報告	
		8. 平成18年度支部活動報告	
		9. 平成19年度日本看護連盟通常総会代議員報告	
	審議事項	1. 平成19年度長崎県看護連盟スローガン(案)	
		2. 平成19年度活動計画(案)	
		3. 平成19年度収支予算(案)	
		4. 第21回参議院選挙対策について	
		5. 平成20年度 日本看護連盟通常総会代議員選出について	
		6. 平成20年度総会開催地について	
		7. その他	
	綱領宣言		
	日本看護連盟歌		
15:15	閉 会		
		長崎県看護政策推進大会	- 組織強化 -
15:20	あいさつ	長崎県看護連盟会長	
		長崎県看護協会会長	
	ことば	衆議院議員第一選挙区支部長	
		長崎県議会議長	
		自由民主党長崎県支部連合会幹事長	
		参議院議員選挙区立候補予定者後援会会長	
	特別講演	1. 講師：参議院議員 南野知恵子先生	
		演題「激動のとき看護の力を強化しよう」	
		2. 講師：参議院議員選挙区立候補予定者 小嶺忠敏先生	
		演題「私が歩んだ道、そして母」	
	大会宣言		
16:20	閉 会		

提出議題

- ① 平成19年度長崎県看護連盟スローガン(案)
- ② 平成19年度活動計画(案)
- ③ 平成19年度収支予算(案)
- ④ 第21回参議院選挙対策について
- ⑤ 平成20年度日本看護連盟通常総会代議員選出について
- ⑥ 平成20年度総会開催地について
- ⑦ その他

平成19年度

長崎県看護連盟スローガン(案)

● **ベッドサイドから
政治を変える!!**

平成19年度 長崎県看護連盟表彰受賞者

日本赤十字社長崎原爆病院

阿部 幸恵

日本赤十字社長崎原爆病院

江添 郷子

長崎大学医学部・歯学部附属病院

小川 由美子

健康保険諫早総合病院

岩崎 春代

健康保険諫早総合病院

江口 真寿美

健康保険諫早総合病院

星田 美恵子

健康保険諫早総合病院

前野 ひろ子

恵寿病院

江崎 寿美枝

佐世保市立総合病院

氏田 美知子

五島中央病院

鈴木 フクエ

五島中央病院

梁瀬 セン

山口看護連盟会長

故伊藤市長様のご冥福をお祈りいただきまして、ありがとうございます。さて、皆さん今日は、長崎県看護政策推進大会、選挙とは違います。政治活動でございます。そして、松原まなみ先生においでいただきました。意は政治活動組織強化のための今日でございます。組織強化なくして、日本看護協会の政策、そして長崎県看護協会の政策は実現できません。この館も、県立シーボルト大学も、全部行政と政治の手を借りたのです。そしてもう一つは私、病んで6年になります。泣けるに泣けない、声が出ない、そして涙も出ない日々を送りました。その時看護師さんがしっかりと私の手を握ってくださいました。その手がとても温かかったです。看護とは、この手と手のぬくもりであると、私ながらの看護論でございます。夜勤の看護師を一名ずつ増やしたならば、私の手をもう一回多く握ってもらえることができるだろう。各患者さん方の訪室が増えてくるだろう。そして、この看護師が安心安全なお仕事ができるだろう。看護職を増やさないといけない！このことは政治の力にほかない。私でなければできないこと、長崎県で旗を振ろう。職場環境を変えるのは他人ではない、自分たちでなければ務まらない、しかし自分たちだけでは力が足りない、それを国会の先生に、地元の県議、市議の先生に力を貸してもらわなければ私達のこの勇気ある心が届かない。先生方と私達の組織が、一体となって何にも恐れることはない、成せば成るということを信じた次第でございます。やる行為、自分のことだから自分でやろう。



長崎県看護政策推進大会 両会長からのメッセージ

荒木看護協会会長



日本看護協会は創立60周年を迎えます。長崎県は、昭和22年10月、900人の会員で設立いたしました。その後、日本看護協会綱領ができ、これが看護協会の理念であり政策となりました。それを果たすために私たちは活動しているわけなんです。井上さんが昭和26年参議院議員に当選され、それ以来、私たちは国会に看護協会の代表を送っているわけです。そして、平成4年に清水先生、のおの先生の揃われた年に、看護職員人材確保法が制定されました。その後4年制の大学が150校くらいになってきたと思います。平成17年の看護協会総会では、新卒看護師の卒後看護研修をとにかく法制化しようということで決議いたしました。平成18年看護基礎教育の4年以上ということを決議いたしました。今年保健師、助産師を4年の教育の上に積み上げようと総会に出るはずですが、私たち4師と言いますけど、それと肩を並べて私たちが行くためにはやはり6年が必要ではないかと考えます。

こういうことを制度として制定するためにはどうしても国会に代表を送っておかなければなりません。私たちは、あたたかい看護を提供するため、そして人は病気で死ぬのではない、人は生まれたから死ぬんです。みんな死ぬんです。その時に、本当にやさしい看護の手で、送ったり送られたりしたいものじゃありませんか。そういう意味で、どうしても今年は、松原先生を国会に送りたいと切に思っております。

「本気になりましょう」、そしてまた今日は、憲法記念日です。私たち女性の参政権ができたのは昭和20年です。本気になって、ぜひ、この一票を投じることを皆様とお約束したいと思います。

「本気になりましょう」、そしてまた今日は、憲法記念日です。私たち女性の参政権ができたのは昭和20年です。本気になって、ぜひ、この一票を投じることを皆様とお約束したいと思います。



衆議院議員 北村誠吾先生

皆様方とともに、松原先生と私たちは実現のために働くんだということで、二つ、申し上げます。これは先般いただいた資料に基づくものであります。**子育てをしながら、女性が仕事を続けられる環境づくりを実現しよう**、二つ目に、先ほどお話しがありました、60年前、昭和23年に作られたという法律、「保健師・助産師・看護師法」これの見直しをする。そして、6年制の実現ということに対しましても頑張ってもらいます。皆さん、がんばりましょう。

衆議院議員 谷川弥一先生

看護連盟が困ったことは、ありとあらゆる方法を通じて、その困った状態を直すのが僕らの仕事だと思っております。ありとあらゆる方法をやっていますね、**実現せんばだめなんです**。口ばかりじゃ。やらんばダメ、やりますから。



小嶺忠敏先生

日本の政治の課題は何かと言いますと、やっぱり現場の経験者が非常に少ないことだと思っております。ほとんど机上論であります。そこにいきますと、**松原先生は現場の経験者で、まさに現場のプロでございます**。皆さん方の声が国に届くように、それが、日本の、皆さん方の課題を救う方法だろうと思えます。皆さん方と一緒に支えていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

日本看護連盟会長 見藤隆子

山口会長さんのお働きを見ていただくと、政治力を出すということがどういうことなのか、ということがある程度お分かりいただけると思うんです。看護の仲間たちは、先輩含めて、これまで随分頑張ってもらいました。しかし、私たちの職場がどれだけ良くなったでしょうか。賃金は、どれだけ良くなったでしょうか。あるいは、皆様方のオーバーワークはどれだけ良くなったでしょうか。

昭和26年に准看護師制度が保助看法改正で通りました。10名の国会議員の議員立法でございます。法律というものを作ったり改正したりすることができるのは国会議員しかおりません。国会議員でしかできない。そのためには、**一人でも多くの国会議員を出さなきゃいけない**。看護協会は58万人いるんです。看護職の数でいえば130万人いるんです。その人たちのほとんどが無関心。投票にも行かない。私は、いつも歯ぎしりをしております。問題は昭和23年にできた保助看法です。教育もそのまんまです。3年のまんま！これだけ医療が進歩し、大学もこれだけでき、大学院も作ろうとしているのに、法律のほうは3年がいいんです。私ども看護職はみんなの努力で看護をレベルアップし、患者さん、国民のためにいいケアを提供しよう、どうやったら国民に喜んでもらえるかを真面目に考えてきました。そして、少しずつ評価されてきました。しかし私たちの身分を規定してるのが保助看法でございます。これを何とか少しでも私たちの望むように変えない限り、根本的な私たちの身分は変わっていかないと思っています。**ここにいる方一人10票出していただきたい**。どうぞよろしくお願いいたします。



松原まなみのお約束

1 弱者・高齢者も
みんなで支え合える社会に

2 医療や介護を
安心して受けられる社会に

3 安心して産み
育てられる社会に

4 未来をになう子どもたちに
生きる力を育む教育を

5 環境を守り、みんなが
健やかに生きられる社会に



政策をぜひ実行し、信念
を持って頑張ってほしい。
協力はおしまない。

当選後はぜひ少子化対策、
働きながら子育て支援な
ど、ぜひ頑張って
ほしい。

看護職がもっと働きやす
くなるようにその「礎」を築
いてほしい。

まず、私たち看護職が選挙
に行って、ぜひとも当
選してほしい。



たくさん会員の声が聞かれました。

看護政策推 進大会宣言

私たちは、人々が人間としての
続けるために、社会的な責務を果
そのために、看護の質向上への
ニーズに対応し、制度の改革を推
私たちは、看護政策実現のため、

平成19年5月3日

尊厳を維持し、健康で幸福であり
します。
努力と共に、社会の変化と人々の
進みます。
責務を果します。

以上

長崎県看護政策推進大会



臨床現場の要望を
聞いてほしい。

どうにもならないこと
だが年をとったら夜勤
が負担になる。



夜勤回数を減らしてほしい。

頑張って活動してい
るので、ぜひ当選し
てほしい。

夜勤改正に伴い、看護師
の人数不足(7:1
の体制がとれない)

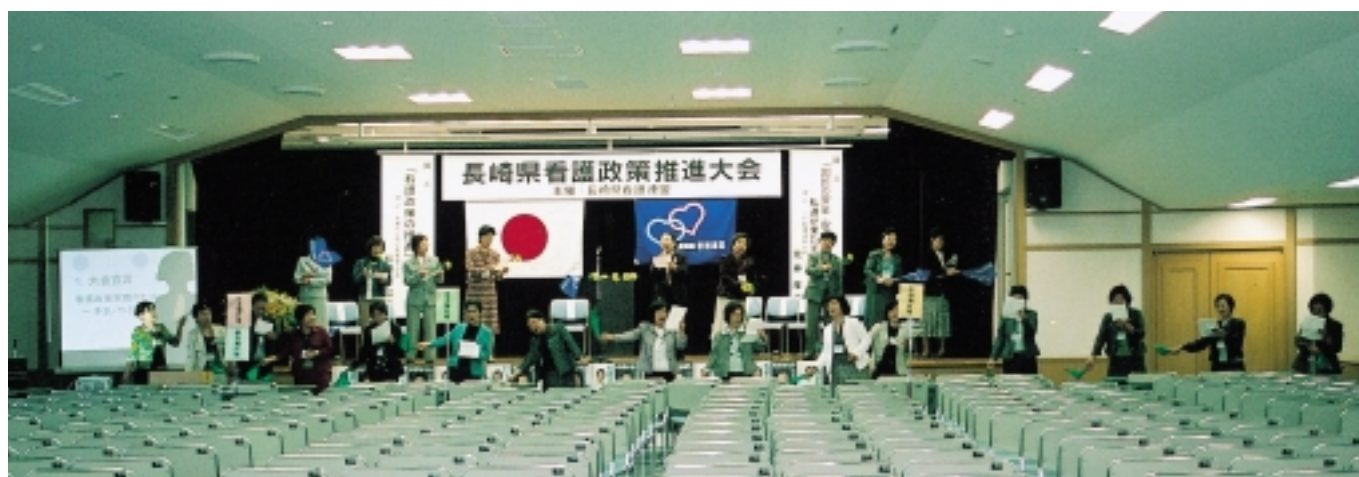
急性期病院は制度として7:1を
取るよう決めてほしい。

「松原まなみ」応援歌

幸せは歩いてこない
だから自分でいくなだね
1日10歩 3日で100歩
1,000歩すすんで 10,000歩
人生はワン・ツー・パンチ
汗かき 汗かき 頑張ろう
「松原まなみ」の応援を
看護のために 支えましょう
やる気だして 元気だして
ワン・ツー ワン・ツー
休まないで 頑張ろう
ソレ! ワン・ツー ワン・ツー
ワン・ツー ワン・ツー
頑張ろう!!

会 員 数

地 区 名	支 部 名	平成18年度	平成19年度 4月末現在	7月獲得目標数
県南地区	第 一	554	546	6,000
	第 二	428	375	
	第 三	980	917	
	第 四	677	698	
	個 人	18	15	
	小 計	2,657	2,551	
県央地区	第 一	179	179	3,000
	第 二	495	481	
	第 三	163	166	
	小 計	837	826	
県北地区	第 一	876	867	4,000
	第 二	351	350	
	個 人	5	5	
	小 計	1,232	1,222	
離島地区	五 島	45	47	500
	小 計	45	47	
合 計		4,771	4,646	13,500



推進大会りハーサル風景

編 集 後 記

長崎県看護政策推進大会にはたくさんの御出席ありがとうございました。会場では不備がありましたこととお詫び致します。インタビューに答えて下さった方々、ありがとうございました。皆様のお声を出して下さい。出さないと気が伝わりません。広報はそのお手伝いをしたいと思います。

どうぞどんでん御意見をお寄せ下さい。

金澤、中嶋、野口、本村、本田

<http://kangorenmei-nagasaki.jp/>

